



## 2022年アマチュア資格規則(2022年1月1日発効) Q&A

2022.7.7 更新

2022年1月1日からアマチュア資格規則が大きく改訂されます。その新しい規則に関してよくご質問をいただく10のQ&Aをできるだけ簡単にまとめました。なお、各規則の規定、ガイドランスの日本語最終版は11月末頃までには発表する予定ですので、規則の更なる詳細はその最終版で確認いただければと思います。

なお、2022年アマチュア資格規則に関するご質問は <https://forms.gle/KhQdfT5XveB8abcV9> にお問い合わせ下さい。

### Q アマチュア資格とは何ですか?

**A** アマチュアゴルファーとして競技に参加する資格です。すべてのゴルファーはアマチュア資格規則に違反する行為をしていなければアマチュア資格を持っています。  
アマチュア資格規則に違反すると、アマチュア資格を喪失し、アマチュアゴルファーとして競技に参加することができなくなります。

### Q アマチュア資格規則に違反する行為とは?

**A** 次の行為をすると、アマチュア資格に違反します。

- 規則で認められない賞を受け取る。
- プロフェッショナルとしてゴルフ競技でプレーする。
- 技術指導をして報酬を受け取る。
- プロフェッショナルとしてゴルフ倶楽部、練習場に雇用される。
- プロフェッショナルゴルファーのための協会の会員となる。

### Q プロテストやQTを受験した場合、アマチュア資格を喪失しますか?

**A** プロテストやQTを受験することはアマチュア資格に違反しません。プロテストに合格をしてプロフェッショナルゴルファーの協会の会員に登録したときにアマチュア資格を失います。QTの場合、ツアーメンバーとして登録してプロフェッショナルとしてプレーした場合にアマチュア資格を失います。

※QT=ツアーに参加する資格を得るためのクオリファイングトーナメント

**Q** ロングドライブやパッティングだけの競技、コンテストを運営する協会(プロフェッショナルの協会を含む)の会員となることはアマチュア資格規則に抵触しますか?

**A** ロングドライブやパッティングだけの競技のようにティーからホールへの競技以外の競技は規則 3「賞」の規定の対象外ですので、いかなる賞金、賞品を受け取ってもアマチュア資格を喪失しません。

そのようなティーからホールへの競技以外のゴルフ技術を競うためのプロフェッショナルの協会は、規則 2 でいう「プロフェッショナルゴルファーのための協会」ではないので、そのような団体の会員となってもアマチュア資格を喪失しません。

そのようなティーからホールへの競技以外のゴルフ技術を競う競技にプロフェッショナルとしてプレーをしてもアマチュア資格を喪失しません。

ただし、ロングドライブやパッティングの技術指導をして報酬を得た場合は規則 4「技術指導」に抵触し、アマチュア資格を喪失することになります。

**Q** ティーチングプロのための協会の会員となることはアマチュア資格規則に抵触しますか?

**A** 抵触します。ティーチングプロのための協会の会員のすべてが技術指導をして報酬を得ることを目的としている場合、その協会は規則 2 でいう「プロフェッショナルゴルファーのための協会」となります。

一方で、技術指導をする講師のための団体で、会員がアマチュアゴルファーやプロフェッショナルゴルファーで構成されていて、会員の一部が報酬のために技術指導をするを目的としない団体の場合は「プロフェッショナルゴルファーのための協会」とはみなされません。

なお、いずれの場合も、技術指導をして報酬を得た場合には規則 4 に抵触しアマチュア資格を喪失することになります。

**Q** 受け取ると規則違反となる賞とは?

**A** スクラッチ競技

10万円以下の賞金、賞品を受け取ることができます。つまり、10万円を超える賞金、賞品を受け取った場合には違反となります。

ハンディキャップ競技

10万円以下の賞品を受け取ることができます。つまり、10万円を超える賞品、または額にかかわらず賞金を受け取った場合には違反となります。

**Q** 賞の規則はドラコン、ニヤピン、ホールインワンにも適用となりますか?

**A** 賞の規則は「ティーからホールへのゴルフ競技」に適用されます。また、「ティーからホールへのゴルフ競技」のプレー中に行われるドラコンやニヤピンにも適用されます。「ティーからホールへのゴルフ競技」はプレーされる場所を問いません(例えばゴルフシミュレーターでの競技も含みます)。

しかし、「ティーからホールへのゴルフ競技」ではないロングスト・ドライブ競技、パッティング競技、ホールインワン(競技中のものは50ヤード以上であること)には賞の規則は適用されません。

※「ティーからホールへのゴルフ競技」とは、ティーからホールへプレーしてそのスコアに基づいて行われる競技でゴルフコース上だけでなくゴルフシミュレーターでの競技も含みます。

**Q** 技術指導とは?

**A** クラブをスイングする、球を打つ仕組み(メカニズム)を教えることを意味します。体の健康や心理的なアドバイスは技術指導ではありません。

**Q** ゴルフ倶楽部、練習場やゴルフショップの従業員が技術指導をした場合、規則違反となりますか?

**A** 仕事の一部として技術指導をし、給与を得ている場合は受講者から直接レッスン代を受けていなくても規則違反となります。

なお、学校や教育機関に雇用されている先生がすべての業務時間の50%以下の時間で生徒に技術指導をして報酬を得ることは認められます。

**Q** アマチュアゴルファーが技術指導に関する書籍を出版したり、動画をオンラインに投稿することはできますか？

**A** 特定の人、グループに直接技術指導をするのではなく、文書を読んだり、動画を見た人がその技術指導を採用するかどうか、また自分自身のスイングにどのように組み入れるかを個人が判断できる形式であれば技術指導の書籍、動画の投稿をすることができます。ただし、それらを見た視聴者に技術指導を直接返信することはできません。

**Q** アマチュアがスポンサーやエージェントと契約をしたり、競技費用を負担してもらったりすることはできますか？

**A** 新しい規則では契約や合意を禁止していません。また契約金の額などについても何ら制限を設けていません。したがって、アマチュアが企業やエージェントとスポンサー契約をすることができ、またゴルフ競技に参加する費用を含めあらゆる金銭的な援助を受けることができます。

**Q** アマチュアが CM に出演したり、企業のロゴを付けた服を着てプレーすることはできますか？

**A** 新しい規則ではアマチュアが氏名、肖像を宣伝・広告に利用することを禁止していません。したがって、アマチュアが報酬を得て CM に出演することもできますし、企業の商業ロゴを付けた衣類を着てプレーすることもできます(ただし、競技の主催者がドレスコードを規定している場合はその規定に従う必要があります)。

(公財)日本ゴルフ協会  
規 則 委 員 会  
アマチュア資格規則部会